

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0581
施設名	杉並の家保育園
施設所在地	東京都杉並区浜田山4-31-5
法人名	社会福祉法人けいわ会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

色々な素材に触ってみよう

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)  
昨年度より絵画教室が始まり、子ども達は絵の具やのり等、色々な物に触れながら製作することを楽しんでいました。絵画教室を楽しみにしている子が多く、活動中はじっくりと取り組む姿が見られたため、もっとのびのびと表現できるように、もっと多くの素材に触れて作品作りができるようにテーマを「素材」と決めた。

## 2. 活動スケジュール

- ・ 4月2回 (新聞紙、絵の具、)
- ・ 5月2回 (クレパス、絵の具、模写、てるてる坊主)
- ・ 6月1回 (絵の具、クレパス、模写)
- ・ 7月2回 (絵の具、小麦粉粘土、スクラッチ)
- ・ 8月2回 (丸シール、ちぎり絵、イメージ画 )
- ・ 9月2回 (絵の具、クレパス、デザイン画)
- ・ 10月2回 (ホチキス、小麦粉粘土)
- ・ 11月2回 (ビー玉、立体構成、 落ち葉)
- ・ 12月2回 (のり、絵の具、模写、クリスマスツリー)
- ・ 1月2回 (サインペン画、貼り絵)
- ・ 2月2回(絵の具、ビニールテープ、共同制作+A27)
- ・ 3月2回 (絵の具、紙粘土、紙コップ)

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- (活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
- ・ 短時間で集中できるように30分程度で行った。主に年齢別で行ったが、時折やりたい子だけで行う等主体的に取り組めるよう工夫した。
  - ・ 準備  
土粘土、モール、半紙、落ち葉、段ボール、絵の具、カプラ、乾燥棚、Ipad,applepencil,スピーカー  
ミラーマット、花紙、小麦粉、ビニールテープ等

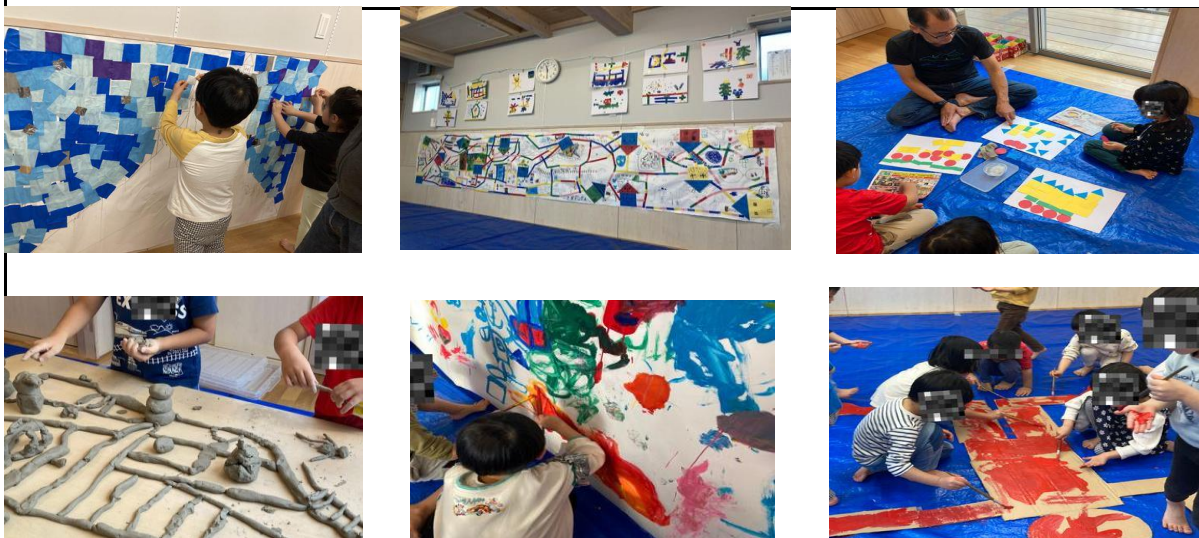
#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

色々な感触に触れられるよう各月のテーマに沿って豊富に素材をに用意した。最初は講師の見本を見ながらるてる坊主、張り子等同じ作品を作ったが、回数を重ねると自分で表現する楽しさを覚え、土粘土やカプラを使って自由に表現する楽しさを感じていた。子ども達の作品をIpadを使用し、ドキュメンテーションとして保護者に配信したり、職員間でも発表したりして共有をした。最後は皆で雪の城を作成し、ミラーマットで反射する様子を楽しんでいた。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

普段の保育の中では行わない絵の具の使い方や模写、共同作品など毎回異なる活動に子ども達はいつも楽しみにしながら登園し、絵画教室に参加していた。子どもの表現を大切にし、あえて声を掛けすぎないようにしたり、個別に援助をしたりすることで製作や絵画が苦手な子も自己肯定感を高めることが出来た。また自由遊びの中でも絵画教室の事を思い出し、自ら同じ作品を作ったり、友達と協力する楽しさを十分に味わっていた。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

絵画教室を楽しみにし、子ども達は意欲的に参加していた。最初は絵の具やのりの感触を嫌がる子もいたが、回数を重ねると徐々に慣れ、最初は保育者に援助されながら行っていた子も最後は一人で取り組む姿が見られた。また友達同士の作品を見て良い所を褒め合ったり、絵の具や筆の使い方、順番に使う模範意識など、この活動を通して様々な面で成長を感じる。また作品が出来上がると嬉しそうに保護者に見せる姿がとても印象的であった。以前は製作と言うと嫌がったり、上手くできないと言ったりする姿が見られることもあった。しかし絵画教室が始まると正解は無く自由に表現してよいと理解すると楽しさを覚え、苦手と声を出していた子ののびのびと表現できるようになった。また子ども達からこの製作をしたい、やってみたいと声が挙がり、主体性を持って活動に取り組むことが出来た。特に年長児はその中で友達のやりとりも増えアイデアを出し合いながら作品を完成する達成感も面白い、自信に繋がった。